

熊楠ワークス

KUMAGUSU WORKS

全国から400人を超える入会

南方熊楠のファンクラブ 熊楠ワークスが正式発足



孝 南方熊楠邸保
存顕彰会は、
南方熊楠邸の

保存・管理と南方熊楠翁の学業の成果を顕彰することを目的として、昭和六十二年六月に発足以来、多岐にわたる顕彰事業に取り組み、予想を超えた成果を収めているところです。

世界的な博物学者、南方熊楠翁（一八六七―一九四一年）のファンクラブ「熊楠ワークス」が四月二十七日に正式発足し、活動を始めました。会員数は七月二十日現在で約四百六十人。南方熊楠邸保存顕彰会では、年四回の会報発行のほか、全国の熊楠ファンを対象にしたイベントの企画立案などに積極的に取り組んでいます。

熊楠ワークスは、熊楠の顕彰をさらにすすめるために設立しました。会報を通じて、地元ならではの情報や顕彰会の活動状況、各種事業の案内を全国に発信していきます。また、会員のコーナーでは、熊楠に関する考察や雑感、会

ワークス発足に当たって

顕彰会会長 脇中 孝
田辺市長

このたび、熊楠ファンの裾野を広げ、熊楠翁の偉業をより一層広く顕彰するため、ファンクラブ「熊楠ワークス」を組織し、終（つい）の栖（すみか）とされた紀州田辺から、会員の皆様

発行所
南方熊楠邸保存顕彰会
和歌山県田辺市新屋敷町1
田辺市教育委員会文化振興課内
TEL0739(22)5300(代表)

CONTENTS

- 2面 南方熊楠翁と私 竹内 郁夫氏
- 3面 神島を探る① 後藤 伸氏
- 5・4面 南方熊楠所蔵 粟田 恭子氏
「球陽調査報告」

- 6面 およどんの見た 晩年の熊楠 中瀬 喜陽氏
- 7面 普段着の南方熊楠①
- 8面 顕彰会活動報告

員相互の呼び掛けなどを掲載していきます。

ワークスを運営するため顕彰会の五つの部会（企画、啓発、賞運営、フィールド調査、研究所建設）から編集委員と事務局員を選出、実務を担当していきます。いずれもボランティアによる活動です。

事務局は田辺市教育委員会文化振興課内（郵便番号646 田辺市新屋敷町一番地、電話0739・22・5300番）に置きました。

四月二十七日に行った南方

方に熊楠翁に関するさまざまな情報を発信していくことになりました。

今後、会員の皆様からご意見、ご要望などをお寄せいただき、熊楠ワークスの運営に反映させていきたいと考えていますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

熊楠賞授賞式を機に会員の募集を開始したところ、全国から大きな反響があり、和歌山県内、県外を含めて四百六十人（七月二十日現在）の入会がありました。顕彰会では千人を目標に引き続き会員を募っていきます。

【入会方法】

熊楠ワークスへ入会希望の方は、次の郵便口座までお申し込み下さい。年会費は二千元（振り込み手数料別）です。
口座番号 0101010181
58888
加入者名 南方熊楠邸保存顕彰会 熊楠ワークス

竹内氏に南方賞

田辺市内で授与式

第六回南方熊楠賞の授賞式が四月二十七日、和歌山県田辺市内のホテルであり、細胞性粘菌研究の権威、竹内郁夫氏（69）に京都大学名誉教授、岡崎国立共同研究機構長に賞状とトロフィー、副賞（百

万円）が贈られました。

細胞性粘菌は、生物の細胞がどのような仕組みで特定の役割を持った細胞に分かれていくのかを研究するのに適した生物。竹内氏は一九五六年米国プリンストン大学に留学し、日本人として初めて細胞性粘菌の研究に着手しました。帰国後、細胞が分化していく過程を追う方法を定着させ、わが国の発生生物学の研究に大きく貢献しました。

選考委員長の岩槻邦男・立教大学理学部教授は「自然界の真理を極めていくという点で南方熊楠翁と共通している」と選考評を述べました。

竹内氏は「受賞は私一人の榮譽ではなく、発生生物学の分野全体にいただいたものと考えています。受賞が一つのきっかけになってこの分野の研究が発展することを願っています」と受賞の喜びを語っていました。